



鶴小 ICT 通信

令和3年11月15日 第5号



Society 5.0 の世界で

| | |
|-----------|----------|
| Active | 学びを活性化する |
| Adaptive | 学びを最適化する |
| Assistive | 学びを支援する |

11月に入り、秋らしい気候になりました。校内音楽会に向けて一生懸命練習に励んでいた子供達ですが、さっそく次の行事、運動会に向けて、それぞれの学年が練習を始めています。校外学習も再開し、まだまだ油断できない状況ではありますが、少しずつこれまでの「当たり前」を取り戻しつつあります。

子供達にとって、スマートフォンやタブレット端末はもちろん、IoT（モノのインターネット）ですら、生まれた時から存在し、それを活用する世の中も当然、「当たり前」です。鶴ヶ丘小学校でも、様々な学年でタブレット端末を活用した授業風景をよく見かけるようになりました。これからの社会、Society5.0の世界で一人ひとりに求められる「生きる力」を培っています。

Society 5.0 とは？

これまで人間社会は、狩猟社会（Society 1.0）、農耕社会（Society 2.0）、工業社会（Society 3.0）、情報社会（Society4.0）という段階をたどってきました。Society 5.0は、これからの新たな社会を指すもので、内閣府のホームページを見ると、Society 5.0について、以下のように説明されています。

Society5.0で実現する社会は、IoTで全ての人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有され、今までにない新たな価値を生み出すことで、課題や困難を克服します。また、人口知能（AI）により、必要な情報が必要な時に提供されるようになり、ロボットや自動走行車などの技術で、少子高齢化、地方の過疎化、貧富の格差などの課題が克服されます。社会の変革（イノベーション）を通じて、これまでの閉塞感を打破し、希望の持てる社会、世代を超えて互いに尊重しあえる社会、一人一人が快適で活躍できる社会となります。

情報が、経済的な発展のための道具から、環境面や人の暮らしも含めた社会基盤を支える道具になる世界で、その道具の有用性や危険性等様々な角度から子供達に指導をしていきます。まだまだ始めたてですが、子供達はとても意欲的に学習に励んでいます。

子供の様子 みんなの学級

みんなの学級では、みんなで作る町づくりのためのアイデアを、タブレット端末を用いて調べています。相談をしながらよりよい町づくりについて考えることができました。

また、総合的な学習の時間で調べたことを、SKYMENUの発表ノートにまとめています。こうすることで、発表の内容を共有したり、大きな画面に映して発表したりすることができます。

